



松山 篤夫 議員

「日本史の高山市」で「もう一泊」につながる新しい高山の創造を進めよう!!

高山市の観光政策

【問】国別の外国人の入り込みについて、国の観光白書では韓国、中国が多く、アジア全体で75%を超えている。逆に高山市では韓国、中国の割合が低くアジア全体でも53%ほどだが、欧米の割合が国全体よりも高くなっている。海外からの観光客誘致対策として、国や地域別の戦略についてどのように考えているか。

【答】パンフレットやホームページの改良、PR活動の見直しなどを行い、これまで以上に国や地域のニーズに合った外国人誘客のための取り組みを行っていく。

【問】高山市には日本史の始まりから小京都高山に至るまでのあら

ゆる時代の歴史的遺産が残されている。新しい観光のコンセプトを作りだし「もう一泊」の運動展開とともに新しい高山の創造を進めて行くことも大切だと思いが、国内観光客の誘致対策は。

【答】地域全体にある歴史と自然の活用については、今後も支所や各観光協会などと連携を図り、地域からの情報をさらに掘り下げ、史跡・文化財やグリーンツーリズムのメニューなどと結びつけ滞在型観光を進めていく。

災害時相互応援協定

【問】遠隔地の市町村と災害時相互応援協定を結ぶ自治体が増えているが、高山市の災害発生時の応援体制整備の状況は。

【答】平塚市をはじめとする姉妹友好都市など5市と災害時応援協定を締結している。現在、兵庫県篠山市及び、愛知県蒲郡市とも締結に向け協議を始めている。

【問】大震災前に結ばれている民間事業者との提携協定の見直しが必要だと思うが市の考えは。

【答】見直しの必要なものについては再締結を実施している。また、具体的な申し出については、協議を進め締結できるように対応していく。



国府町史跡巡り

結婚支援事業



溝端 甚一郎 議員

婚活は行動力!!

【問】民間との縁結び協力は。

【答】この世に生まれて相手が見つからないことがある。企業と企業の出会いや、まちぐるみでのコンパの場所づくりの所もあり、これらも含めての研究をしていく。重要課題と認識をしている。

【問】今年の事業内容は。

【答】成果として、第1回は飛騨の里で12名、第2回は乗鞍で14名、第3回は久々野で18名、第4回の高山と第5回の奥飛騨温泉を計画している。

【問】未婚者の結婚意欲は。

【答】良いめぐりあいが少ないと言われる。出会いを多くする様、イベントの内容や充実

を図っていく。

猪之鼻活断層帯

【問】詳細な情報は。

【答】東大研究グループ発表について、県は一研究グループのものとして肯定も否定もしていない。今後とも、情報把握に努める。

【問】ダムの安全性は。

【答】国交省は兵庫県南部地震の後、ダムの設計基準を見直した。高根ダムは113mのダムであるが、耐震性を有していると判断されている。

高齢者等の避難誘導

【問】防災訓練は。

【答】総合防災訓練は地域が一体化して実施している。支所地域は、日赤奉仕団も含めている。可能な限り各種団体に配慮したい。

【問】建設業協会との協定書は。

【答】合併後、改めて市として協定している。個々の会社の協力はしている。

【問】高齢者・弱者への避難誘導は。

【答】各事業者や地域の皆さんとの連携を進めていく考え。

ご当地検定

【問】高山市の取り組みは。

【答】全国的に、地域の魅力の再認識をしようとして始まったが、最近では中止の所もある。商工会議所や民間団体等と協議して研究したい。

